



# 資料編

---

- 策定経過
- 審議会委員名簿／諮問／答申
- 語句解説集

# 資料編：策定経過

	内 容
平成31年3月	総合計画策定条例制定
4月	○第1回庁内策定委員会 ・策定方針について
令和元年7月	○第1回庁内策定ワーキング会議 ・住民アンケート、中学生アンケートについて
9月	○第2回庁内策定委員会 ・住民アンケート、中学生アンケートについて
10月	○第2回庁内策定ワーキング会議 ・第5次総合計画検証、インターネットアンケートについて
	○住民アンケート／中学生アンケート
11月	○第5次総合計画検証（各課調査 ※評価について）
令和2年1月	○第3回庁内策定ワーキング会議 ・各分野からみた町の現状課題及び将来のまちづくりのテーマについて
	○トップインタビュー（町長・副町長） ・今後目指すべき将来像、方向性について
2月	○第4回庁内策定ワーキング会議 ・2040年を見据えた町の課題及び住民協働で取組むべきテーマについて
	○インターネットアンケート（町外者対象）
4月	○第3回庁内策定委員会 ・基礎調査について（人口推計、財政、アンケート結果）
	○第1回総合計画審議会 ・委員の委嘱、諮問 ・策定方針説明 ・基礎調査について（人口推計、財政、アンケート結果） ※委員からの意見集約
	○トップインタビュー（町長・副町長） ・総合計画の骨子案について
5月	○第4回庁内策定委員会 ・基礎調査における委員からの意見に対する対応について ・年齢別将来人口の推移について ・今後の策定スケジュールについて
	○第2回総合計画審議会 ・年齢別将来人口の推移について ・今後の策定スケジュールについて
7月	○第5回庁内策定ワーキング会議 ・総合計画策定に向けた基本的方向性や将来像について

7月	○第5回庁内策定委員会 ・総合計画策定に向けた基本的方向性等について ・第5次総合計画の評価について（5次進捗状況の確認）
	○第3回総合計画審議会 ・総合計画策定に向けた基本的方向性等について ・第5次総合計画の評価について
7月～8月	○団体アンケート・ヒアリング
9月	○町議会へ策定状況説明（全員協議会） ・将来人口推計、住民アンケート結果について
	○第6回庁内策定委員会 ・総合計画素案について（施策体系、将来人口フレーム）
	○第4回総合計画審議会 ・総合計画素案について ※委員からの意見集約
11月	○第7回庁内策定委員会 ・総合計画素案について （将来像、基本目標、協働のまちづくりの考え方、重点テーマなど）
	○第5回総合計画審議会 ・総合計画素案について ※委員からの意見集約
	○総合計画素案パブリックコメントの実施（11月27日～12月11日まで）
12月	○町議会へ策定状況説明（全員協議会） ・総合計画素案について ※序論から施策体系まで
令和3年1月	○第8回庁内策定委員会 ・総合計画素案について（将来像、人口フレーム、基本目標の構成）
	○第6回総合計画審議会 ・総合計画素案について
	○第9回庁内策定委員会 ・総合計画素案について（将来像の決定、重点テーマの修正）
2月	○第7回総合計画審議会 ・総合計画素案について ・答申
	○町議会へ策定状況説明（全員協議会） ・総合計画素案について
3月	○町議会にて総合計画の議決

## ■岡垣町総合計画審議会委員名簿

	氏 名	団 体 名 等
会 長	小 島 治 幸	九州共立大学名誉教授
副 会 長	辛 島 秀 典	行政経験者
	広 渡 輝 男	町議会議員
	曾 宮 良 壽	町議会議員
	石 田 友 子	寿会連合会理事
	入 江 政 章	認定・志向農業者連絡会 会計
	岩 崎 喜 久 子	食生活改善推進会会長
	太 田 信 博	観光協会副会長
	尾 崎 順 子	社会福祉協議会評議員
	近 藤 典 子	子育てサークルより推薦
	早 苗 泰 博	商工会副会長
	花 田 悦 子	教育委員会教育委員
	秀 島 義 視	自治区長会会長
	松 本 哲 夫	消防団団長

■ 諮問／答申

< 諮問 >

2 岡企 第 6 号  
令和2年4月9日

岡垣町総合計画審議会 会長 様

岡垣町長 宮内 實生  
(企画政策室企画政策係)

岡垣町第6次総合計画の策定について（諮問）

このことについて、岡垣町総合計画策定条例（平成 31 年岡垣町条例第 12 号）第3条の規定に基づき、下記のとおり貴審議会に諮問します。

1. 諮問事項

岡垣町では、平成23年度から第5次総合計画に基づき、まちづくりを進めており、令和2年度で終期を迎えることから、令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とする第6次総合計画を策定いたします。

策定にあたっては、人口減少や少子高齢化などの社会情勢の変化を的確にとらえ、住民の皆さんから「住みやすい町」との評価を引き続き得ることができるまちづくりを念頭に、皆さんからの意見を求めたく、貴審議会に審議をお願いします。

< 答申 >

令和3年2月4日

岡垣町長 門司 晋 様

岡垣町総合計画審議会  
会長 小島 治幸

岡垣町第6次総合計画の策定について（答申）

令和2年4月9日付2岡企第6号で本審議会に諮問された岡垣町第6次総合計画について、コロナ禍の中委員各位と慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり「まちの未来計画（岡垣町第6次総合計画）（案）」に下記の意見を付して答申します。

記

社会情勢の変化を的確にとらえるとともに、特に、人口減少や少子高齢化の進行に起因するさまざまな町の課題に対応するため、将来像の実現に向け、住民、団体、企業、行政がそれぞれの役割を担い、連携して取り組む「協働のまちづくり」を基本に、各種施策の着実な実行を図られたい。

<b>■数字・アルファベット</b>	
AI	Artificial Intelligence の略称。人工知能の総称。
DV	Domestic Violenceの略称。配偶者(事実婚、別居を含む)やパートナーなど親密な関係にある、またはあった人から振るわれる暴力のこと。
GIGAスクール	義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する構想。
ICT	Information and Communication Technology の略称。情報通信技術の総称。
IoT	Internet of Things の略称。様々なモノがインターネットに接続され、情報交換することにより、相互に制御する仕組みのこと。
SDGs	Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。2015年の国連サミットにおいて採択されたもので、貧困や飢餓、さらには気候変動や平和など広範な分野にわたって17の目標が設定されている。
SNS	Social Networking Service の略。インターネット上で共通の趣味を持つ人達との交流を目的としたサービスの総称。
Society5.0 [ソサエティ 5.0]	Society1.0(狩猟社会)、2.0(農耕社会)、3.0(工業社会)、4.0(情報社会)に続く新たな社会。AI、IoTなどの新たな技術により、これまでの社会の課題を解決する未来社会。
<b>■ア行</b>	
イノベーション	新製品や新技術開発などの技術革新や新たな価値創造による社会変革をさす。
インフラ	インフラストラクチャーの略。生産や生活の基盤を形成する基礎的な構造物。道路・通信施設などの産業基盤、および学校・病院・公園などの社会福祉・環境施設がこれに該当する。
温室効果ガス	大気圏にあつて、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体のことで、二酸化炭素などが該当する。
地球温暖化	社会活動によって放出された温室効果ガスで地球の気温が上昇すること。
<b>■カ行</b>	
関係人口	移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わりを持つ人々をさす。
グローバル化	政治・経済、文化など、さまざまな側面において、従来の国家・地域の垣根を越え、地球規模で資本や情報のやり取りが行われること。
経常収支比率	自治体の財政構造の柔軟性を示す指標で、この比率が低いほど政策的に使えるお金が多くあることを示す。
国土強靱化	「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた取組。
コミュニティ・スクール	保護者や地域住民の声を学校運営に直接反映させ、学校・家庭・地域・教育委員会が目標を共有し、一体となって、地域の子供たちを育む仕組みのこと。
コンパクト+ネットワーク	国の新たな国土づくりの構想として、人口減少社会において、持続可能な都市機能を維持・確保していくために、都市機能や居住するエリアを集約し、公共交通機関などでつなぐ「コンパクト+ネットワーク」の形成をめざす都市。

<b>■サ行</b>	
再生可能エネルギー	太陽光や風力、地熱といった地球環境に対して負荷の少ない自然界のエネルギーをさす。
スクールカウンセラー	学校に配置され、児童・生徒の生活上の問題や悩みの相談に応じるとともに、教師や保護者に対して指導・助言を行う専門家。
スケールメリット	規模の広さを活かした業務や経済の効率性の効果を生むこと。
スマート自治体	AIやロボット技術などICTを活用して、自治体の事務処理を自動化するなど、行政サービスなどを効率的に提供する自治体。
<b>■タ行</b>	
脱炭素・循環型社会	温室効果ガスを排出しない社会で、環境負荷の少ない循環型社会活動を目指した社会。
地域包括ケアシステム	地域の実情に応じて高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制。
テレワーク	情報通信技術(ICT)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。
特定外来生物	人為的などで持ち込まれた外来生物のうち、人間の健康や在来種の生態系などに害を及ぼすまたはその可能性があるとする生物。
都市計画道路	都市の骨格を形成し、安心して安全な住民生活と機能的な都市活動を確保する基幹的な都市施設として都市計画法に基づいて計画決定された道路。
<b>■ハ行</b>	
働き方改革	一億総活躍社会実現に向けた、労働環境を大きく見直す取り組みのことを指し、働く人びとが、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で「選択」できるようにするための改革。
プロモーション	宣伝、販売促進。
<b>■マ行</b>	
マッチング	異なったものを組み合わせること。照合すること。
<b>■ヤ行</b>	
有収率	配水した水の量と収入になった水の量の比率。※比率が低いほど、漏水している可能性があります。
用途地域	都市計画法に定める、住居地域や商業地域、工業地域といった土地利用の区分。用途地域を指定することで、地域ごとに建物の用途や容積率、建ぺい率などが規制・誘導される。
<b>■ラ行</b>	
ライフスタイル	生活の様式・営み方。また、人生観・価値観・習慣などを含めた生活の送り方。
ライフステージ	幼年期、少年期、青年期、壮年期、老年期など、生涯を段階区分したもの。人生の各段階。
リモートワーク	IT技術を使い、オフィス以外の場所で仕事をする働き方。
<b>■ワ行</b>	
ワーケーション	「ワーク」(仕事)と「バケーション」(休暇)を組み合わせた造語で、「働きながら休暇を取る」こと。